

平成 30 年第 1 回定例会

富良野市議会会議録（第 1 号）

平成 30 年 2 月 28 日（水曜日）

平成 30 年第 1 回定例会

富 良 野 市 議 会 会 議 録

平成 30 年 2 月 28 日 (水曜日) 午前 10 時 00 分開会

議事日程 (第 1 号)

- 日程第 1 会議録署名議員の指定
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 富良野市議会議会運営委員会委員の補充選任
- 日程第 4 富良野市議会議会活性化推進特別委員会委員の補充選任
- 日程第 5 平成 30 年度予算の概要について
議案第 1 号～第 8 号 (提案説明)

出席議員 (15 名)

議 長	9 番	日 里 雅 至 君	副議長	8 番	天 日 公 子 君
	1 番	大 栗 民 江 君		2 番	宇 治 則 幸 君
	3 番	石 上 孝 雄 君		4 番	萩 原 弘 之 君
	5 番	岡 野 孝 則 君		6 番	今 利 一 君
	7 番	岡 本 俊 君		10 番	佐 藤 秀 靖 君
	11 番	水 間 健 太 君		12 番	関 野 常 勝 君
				14 番	後 藤 英 知 夫 君
	15 番	本 間 敏 行 君			
	17 番	黒 岩 岳 雄 君			

欠席議員 (0 名)

説 明 員

市 長	能 登 芳 昭 君	副 市 長	石 井 隆 君
総 務 部 長	若 杉 勝 博 君	市 民 生 活 部 長	長 沢 和 之 君
保 健 福 祉 部 長	鎌 田 忠 男 君	経 済 部 長	後 藤 正 紀 君
ぶどう果樹研究所長	川 上 勝 義 君	建 設 水 道 部 長	吉 田 育 夫 君
看 護 専 門 学 校 長	澤 田 貴 美 子 君	総 務 課 長	高 田 賢 司 君
財 政 課 長	藤 野 秀 光 君	企 画 振 興 課 長	西 野 成 紀 君

教育委員会委員長 吉 田 幸 男 君
教育委員会教育部長 山 下 俊 明 君
農業委員会事務局長 佐 藤 正 義 君
監査委員事務局長 佐 藤 清 理 君
公平委員会事務局長 佐 藤 清 理 君
選挙管理委員会事務局長 大 内 康 宏 君

教育委員会教育長 近 内 栄 一 君
農業委員会会長 東 谷 正 君
公平委員会委員長 中 島 英 明 君

事務局出席職員

事務局 長 川 崎 隆 一 君
書 記 佐 藤 知 江 君

書 記 今 井 顕 一 君
書 記 倉 本 隆 司 君

午前10時00分 開会
(出席議員数15名)

開 会 宣 告

議長(日里雅至君) これより、本日をもって招集されました平成30年第1回富良野市議会定例会を開会いたします。

開 議 宣 告

議長(日里雅至君) 直ちに、本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指定

議長(日里雅至君) 日程第1、会議録署名議員の指定を行います。

本定例会の会議録署名議員には、会議規則第119条の規定により、

今 利 一 君
関 野 常 勝 君
岡 本 俊 君
水 間 健 太 君
大 栗 民 江 君
佐 藤 秀 靖 君
宇 治 則 幸 君
黒 岩 岳 雄 君
石 上 孝 雄 君
本 間 敏 行 君
萩 原 弘 之 君
後 藤 英 知 夫 君

以上12名の諸君を指定いたします。

なお、本日の署名議員には、

今 利 一 君
関 野 常 勝 君

を御指名申し上げます。

諸 般 の 報 告

議長(日里雅至君) 事務局長をして、諸般の報告をいたさせます。

事務局長川崎隆一君。

事務局長(川崎隆一君) -登壇-

議長の諸般の報告を朗読いたします。

市長より提出の事件、議案第1号から議案第62号、報告第1号及び予算の概要につきましては、あらかじめ御配付のとおりでございます。

次に、議会及び監査委員より提出のありました事件に

つきましては、議会側提出件名表に記載のとおり、議長にそれぞれ提出がございました。このうち、調査終了いたしました事件につきましては、報告書として御配付のとおりでございます。

次に、1月29日、渋谷正文君から議員の辞職願が提出され、地方自治法第126条ただし書きの規定に基づき、議長職権において1月31日にこれを許可いたしました。

このことにより、議会運営委員会委員及び議会活性化推進特別委員会委員に欠員が生じたことを御報告いたします。

その他、議長の閉会中の主な公務につきましては、議長報告として、御配付のとおりでございます。朗読は、慣例により省略をさせていただきます。

次に、本定例会の説明員につきましては、別紙名簿として御配付のとおりでございます。

本日の議事日程につきましても、お手元に御配付のとおりでございます。

次に、閉会中、経済建設委員会委員の萩原弘之君より市民福祉委員会への所属がえの申し出があり、委員会条例第7条第6項の規定により、議長の職権にて処理いたしました。

また、同じく閉会中、市民福祉委員会及び議会活性化推進特別委員会が開催され、市民福祉委員会の委員長に宇治則幸君、副委員長に佐藤秀靖君、議会活性化推進特別委員会委員長に萩原弘之君、副委員長に水間健太君がそれぞれ選任された旨、報告がございました。

次に、会派役員の変更届があり、雄飛の会幹事長に後藤英知夫君が就任した旨の届け出がありましたので、御報告いたします。

以上でございます。

日程第2 会期の決定

議長(日里雅至君) 日程第2、会期の決定を議題といたします。

本定例会の運営に関し、議会運営委員会より報告願います。

議会運営委員長黒岩岳雄君。

議会運営委員長(黒岩岳雄君) -登壇-

おはようございます。

議会運営委員会より、2月21日に告示されました平成30年第1回定例会が本日開催されるに当たり、2月22日に議会運営委員会を開催いたしましたので、審議した結果について報告いたします。

本定例会に提出されました事件数は、74件でございます。

うち、議会側提出事件は11件で、内訳は、議会運営委員会委員の補充選任1件、議会活性化推進特別委員会委

員の補充選任1件、付託案件委員会報告1件、事務調査報告3件、都市事例調査報告1件、例月出納検査結果報告2件、定期監査報告1件、財政援助団体監査報告1件でございます。

市長よりの提出事件は63件で、その内訳は、予算16件、条例18件、人事24件、報告1件、その他4件でございます。

事件外といたしまして、議長報告がございます。

次に、運営日程について申し上げます。

本会議第1日目の本日は、会期の決定後、議会運営委員会委員の補充選任及び議会活性化推進特別委員会委員の補充選任を行い、その後、平成30年度予算の概要及び平成30年度各会計予算案第1号から第8号の提案説明を受け、本日の日程を終了いたします。

本会議第2日目の3月1日は、所管事項に関する委員会報告及び都市事例調査報告を受け、次に、平成29年第4回定例会において継続審査となった議案第8号について、総務文教委員会より報告を受け、これを審議願います。次に、監査委員報告を受け、その後、議案第39号から議案第62号の審議を願います。次に、報告第1号の報告を受け、その後、議案第20号の審議を願います。次に、議案第9号から議案第19号及び議案第21号から議案第38号の提案説明を受け、その後、直ちに議員全員による予算特別委員会を設置し、第2日目の日程を終了いたします。

委員会では、平成30年度予算及び関連議案を一括付託し、休会中審査とすることで申し合わせをしております。また、議案第20号につきましては、新設条例でありますので、市民福祉委員会に付託し、審査することで意見の一致を見ております。

本会議第3日目の3月2日は、議案第9号及び議案第37号並びに議案第10号から議案第16号及び議案第38号の審査を願い、日程を終了いたします。

3月3日、4日は休日のため、5日、6日は議案調査のため、それぞれ休会といたします。

本会議第4日目の3月7日は、市政に関する一般質問を行い、これを終了いたします。

3月8日、9日は議案調査のため、10日、11日は休日のため、休会といたします。

本会議第5日目の3月12日は、予算総括質疑を行い、これを終了いたします。

3月13日から15日は予算特別委員会開催のため、16日は議案調査のため、17日、18日は休日のため、それぞれ休会といたします。

本会議第6日目の3月19日には、付託されました平成30年度予算及び関連する議案第17号、議案第18号、議案第23号、議案第25号、議案第27号及び議案第28号の審査結果について、予算特別委員長より報告を受け、審議を

願います。次に、議案第19号、議案第21号、議案第22号、議案第24号、議案第26号及び議案第29号から議案第36号の審議を願います。

なお、議案第21号につきましては新設条例のため、議案第33号につきましては精査が必要なため、経済建設委員会に付託し、閉会中の委員会審査とすることで申し合わせをしております。

最後に、追加議案のある場合は、順次、審議を願い、本定例会を終了いたします。

次に、議案外の運営について申し上げます。

予算総括質疑の通告期限は、3月1日終了時とし、請願、意見書案等の提出期限については、3月13日の予算特別委員会終了時までとすることで申し合わせをしております。

以上、平成30年第1回定例会の会期は、本日2月28日から3月19日までの20日間とすることで委員会の一致を見た次第であります。

本定例会は長期にわたりますので、議員、理事者及び説明員におかれましては、健康管理に十分留意され、議会運営に特段の御協力を賜りますようお願い申し上げます。議会運営委員会からの報告といたします。

議長（日里雅至君） お諮りいたします。

ただいま委員長より報告のとおり本定例会を運営し、会期は2月28日から3月19日までの20日間とし、うち3月3日、4日、10日、11日、17日、18日は休日のため、5日、6日、8日、9日、16日は議案個別調査のため、13日、14日、15日は予算特別委員会のため、それぞれ休会にいたしたいと思っております。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、ただいまお諮りのとおり、本日から20日間と決定いたしました。

日程第3

富良野市議会議会運営委員会委員の補充選任

議長（日里雅至君） 日程第3、富良野市議会議会運営委員会委員の補充選任を議題といたします。

お諮りいたします。

議会運営委員会委員の選任については、委員会条例第7条第4項の規定により、議長において指名をいたしたいと思っております。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。

それでは、宇治則幸君を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま指名いたしましたとおり、決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) 御異議なしと認めます。

よって、宇治則幸君を議会運営委員会委員に選任することに決しました。

日程第4

富良野市議会議会活性化推進特別委員会委員の補充選任

議長(日里雅至君) 日程第4、富良野市議会議会活性化推進特別委員会委員の補充選任を議題といたします。

お諮りいたします。

議会活性化推進特別委員会委員の選任については、委員会条例第7条第4項の規定により、議長において指名をいたしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) 御異議なしと認めます。

それでは、宇治則幸君を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま指名いたしましたとおり、決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) 御異議なしと認めます。

よって、宇治則幸君を議会活性化推進特別委員会委員に選任することに決しました。

日程第5

議案第1号から議案第8号(提案説明)

議長(日里雅至君) 日程第5、議案第1号から議案第8号、以上8件を一括して議題といたします。

提案説明に先立ち、平成30年度予算の大綱について説明を求めます。

市長能登芳昭君。

市長(能登芳昭君) -登壇-

おはようございます。

平成30年度予算の大綱について御説明申し上げます。

安倍内閣は、「新三本の矢」を放ち、少子高齢化という構造問題に正面から立ち向かい、成長と分配の好循環の実現に向け、取り組んでおります。GDPは、名目、実質ともに増加、企業収益は過去最高を記録するとともに、就業者数の増加、賃上げなど、雇用・所得環境は大きく改善し、経済の好循環が実現しつつあります。他方、経済の先行きにつきましては、アベノミクスの成果を十分に実感できていない地域の隅々までその効果を波及さ

せ、経済の好循環をさらに加速させるよう、施策を実施していくこととしております。

政府は、引き続き、「経済再生なくして財政健全化なし」を基本とし、600兆円経済の実現を目指しております。少子高齢化という最大の壁に立ち向かい、これまでの経済・財政一体改革の取り組みを精査した上で、プライマリーバランスの黒字化の達成時期及びその裏づけとなる具体的な計画をあわせて示すとし、平成30年度の一般会計予算の規模は、前年度比0.3%増の97兆7,128億円となっております。また、国の平成30年度地方財政対策につきましては、歳出特別枠や地方交付税の別枠加算の見直しなどマイナス要因はあるものの、地方税や地方譲与税の増加により、一般財源総額は前年度を0.1%上回る62兆1,159億円、地方財政計画の規模は、前年度対比0.3%増の86兆8,973億円となっております。

このような状況の中、本市の予算編成におきましては、人口減少と少子高齢化による生産年齢人口の減少から、市税収入の伸びが期待できないことに加え、社会福祉関係経費や公共施設の老朽化に伴う維持管理経費の増大など、依然として厳しい財政状況に変わりはありませんが、国の地方財政対策等を踏まえながら、第5次富良野市総合計画後期基本計画における主要施策に加え、富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる目標達成に向けた施策を推進する中で、本年度は、市長選挙を控えた骨格予算として、義務的経費や継続的事業を中心に予算編成を行ったところであります。

平成30年度の予算規模は、一般会計114億6,600万円、特別会計61億7,160万円、公営企業会計15億3,490万円、合計191億7,250万円であります。

なお、一般会計の予算規模は、骨格予算のため、前年度当初予算額と比較いたしますと7.8%の減で、全ての会計を合わせて前年度当初予算対比6.9%の減であります。

以下、本年度の予算の概要につきましては、副市長から御説明申し上げます。

議長(日里雅至君) 次に、平成30年度予算の概要について及び議案第1号から第8号について、順次、提案者の説明を求めます。

副市長石井隆君。

副市長(石井隆君) -登壇-

おはようございます。

平成30年度各会計予算の概要について御説明申し上げます。

我が国の経済は、アベノミクスの推進により雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復基調が続いております。海外経済が回復するもとで輸出や生産の持ち直しが続くとともに、個人消費や民間設備投資が持ち直すなど民需が改善し、経済の好循環が実現しつつあります。他方、我が国財政は、債務残高のさらなる累増が見込ま

れ、国債費が毎年度の一般会計歳出総額の2割以上を占めるなど、引き続き厳しい状況にあります。政府は、引き続き、生産性革命と人づくり革命を車の両輪とし、新しい経済政策パッケージを推進、基礎的財政収支の黒字化、債務残高の安定的な引き下げを目指し、成長と分配の好循環を確立し、日本経済全体の持続的拡大均衡を図るとしております。

国の平成30年度地方財政計画は、地方交付税が16兆85億円、前年度対比3,213億円減となったものの、地方税や地方譲与税の伸びにより、一般財源総額は前年度を0.1%上回る62兆1,159億円となり、子ども・子育て支援や地方創生などの重要課題に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことができるよう、平成29年度を上回る額を確保する内容となっております。歳出では、公共施設等の老朽化対策、維持補修のための経費や社会保障関係の地方単独事業費増に対応した歳出を確保した上で、危機対応モードから平時モードへの切りかえを進めるため、歳出特別枠は廃止となっております。

本市の予算編成におきましては、このような国の地方財政対策などを踏まえた上で、第5次富良野市総合計画後期基本計画における主要施策に加え、富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる目標達成に向けた施策を積極的に推進する一方、持続可能な財政基盤を維持するため、事業の優先順位や事業内容のさらなる精査により限られた財源の重点配分を図りながら、本年度は、市長選挙に伴い、骨格予算として経常的な経費や年度当初から執行が必要な経費を中心に予算編成を行ったところであります。

議案第1号、平成30年度富良野市一般会計予算について御説明申し上げます。

平成30年度一般会計当初予算総額は、114億6,600万円で、前年度当初予算対比で7.8%の減でございます。

その概要について、歳入から御説明申し上げます。

市税は、国の地方財政計画、地域経済の動向などを勘案し、前年度対比0.7%増の25億1,460万8,000円を計上したところでございます。

地方財政計画及び前年度交付見込み額などを勘案し、地方譲与税は、地方揮発油譲与税及び自動車重量譲与税で、前年度対比4.0%増の2億900万円。

利子割交付金は、前年度対比150.0%増の500万円。

配当割交付金は、前年度対比33.3%減の400万円。

株式等譲渡所得割交付金は、前年度対比20.0%減の400万円。

地方消費税交付金は、前年度対比3.9%増の4億5,700万円。

ゴルフ場利用税交付金は、前年度対比20.0%減の400万円。

自動車取得税交付金は、前年度対比51.2%増の6,200

万円。

国有提供施設等所在市町村助成交付金は、前年度同額の112万5,000円。

地方特例交付金は、制度適用の状況及び前年度見込み額などを勘案し、前年度対比20.0%増の900万円。

地方交付税は、国の地方財政計画や地方財政対策各項目における基礎数値などを勘案し、普通交付税では、前年度対比で1.2%減の43億7,961万1,000円、特別交付税は、前年度同額の3億5,000万円、合わせて47億2,961万1,000円、前年度対比では1.1%の減でございます。

交通安全対策特別交付金は、前年度同額の300万円。

分担金及び負担金は、老人福祉施設入所者負担金、児童デイサービス自立支援給付費負担金、保育所利用者負担金、へき地保育所地域型保育給付負担金などで、前年度対比6.3%減の1億3,994万2,000円。

使用料及び手数料は、文化会館使用料、墓地・火葬場使用料、看護専門学校授業料、農業担い手育成センター使用料、道路占用料、公営住宅使用料などの使用料と、戸籍・住民登録・諸証明手数料、ごみ処理手数料、看護専門学校入学検定・入学料などの手数料で、前年度対比5.3%減の1億4,563万4,000円。

国庫支出金は、保険基盤安定、子ども子育て支援給付、生活保護費、児童扶養手当支給費、障害者自立支援給付費、児童手当などの負担金が11億9,774万7,000円、生活困窮者就労準備支援事業費等、子ども子育て支援、地域生活支援事業費、雪寒指定路線除排雪事業、市道橋長寿命化事業などの補助金が1億317万5,000円、基礎年金等事務などの委託金が676万1,000円、国庫支出金の総額では、13億768万3,000円、前年度対比25.0%の減でございます。

道支出金は、地籍調査事業、国民健康保険基盤安定、後期高齢者医療保険基盤安定、子ども子育て支援給付、障害者自立支援給付費、児童手当などの負担金が5億2,781万5,000円、重度心身障害者医療給付事業、子ども子育て支援、地域生活支援事業費、乳幼児医療費助成事業、中山間地域等直接支払、多面的機能支払、経営所得安定対策等推進事業費、農業次世代人材投資事業、市有林造成事業などの補助金が3億6,280万円、個人道民税徴収取扱事務、諸統計調査、樋門・樋管操作管理などの委託金が4,405万7,000円、道支出金総額では、9億3,467万2,000円、前年度対比2.3%の増でございます。

財産収入は、市職員・教職員住宅貸付料、土地・建物貸付料、基金利子、市有林間伐材素材売払収入などで、前年度対比15.3%減の4,095万5,000円。

寄附金は、ふるさと応援寄附金などで、前年度対比1,000円減の4,801万1,000円。

繰入金は、12基金からの繰入金で、前年度対比12.2%増の2億8,730万7,000円。

繰越金は、科目設定でございます。

諸収入は、前年度対比3.3%減の9,525万1,000円。

市債は、地方財政の財源不足の補填措置として発行する臨時財政対策債、初期救急医療確保対策事業債、特別支援教育推進事業債などで、前年度対比54.9%減の4億6,420万円。

以上が歳入の概要でございます。

次に、歳出につきまして、性質別に分類して御説明申し上げます。

人件費は、職員給は微減ながらも、非常勤嘱託職員報酬の増額などにより、差し引きいたしまして、前年度対比0.4%増の22億3,177万6,000円でございます。

物件費は、燃料費などの高騰や労務単価の上昇、観光経済調査の実施などにより、前年度対比1.5%増の18億1,269万1,000円。

維持補修費は、各施設の修繕など、前年度対比1.0%増の4億3,356万1,000円。

扶助費は、子ども子育て支援給付事業費、自立支援給付事業費などの増により、前年度対比0.6%増の24億4,652万円。

補助費等は、富良野広域連合負担金、地域振興消費拡大推進事業費、富良野市農業担い手育成機構運営負担金などの減により、前年度対比4.4%減の15億8,475万円。

公債費は、償還元金の増額により、前年度対比6.6%増の11億5,551万8,000円。

積立金は、育英基金返還金の増額などにより、前年度対比1.0%増の427万8,000円。

貸付金は、商工業パワーアップ資金貸付金の皆減、新規参入支援農地集積事業推進貸付金の減額などにより、前年度対比30.2%減の2,897万3,000円。

繰出金は、後期高齢者医療特別会計繰出金、簡易水道事業特別会計繰出金などの増額により、前年度対比0.4%増の14億1,897万7,000円。

投資的経費では、普通建設事業費の新規事業で、合同墓設置事業、東9条道路改良舗装事業、ふらの版DMO推進事業のマーケティングシステム委託などがございしますが、骨格予算として当初から執行が必要なものととどめたことにより、前年度対比74.9%減の3億3,895万6,000円でございます。

予備費は、前年度同額の1,000万円でございます。

次に、議案第2号、平成30年度富良野市国民健康保険特別会計予算について御説明申し上げます。

国民健康保険は、国民皆保険制度の基盤を支え、地域医療の確保と健康増進、福祉の向上に重要な役割を担っております。近年の高齢化社会や疾病構造の変化などに伴う医療費の増大、また、加入者の低所得者の割合の増加などによる問題から、持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律が平

成27年5月に成立し、制度見直しに向けて改革が進められてまいりました。

この制度改革により、平成30年4月から、都道府県が市町村とともに保険者となり、財政運営の責任主体としての役割を担い、市町村は、保険料の賦課徴収や保健事業の実施などを引き続き担うこととなります。このことにより、市町村が支払う保険給付費は全額を都道府県が保証し、その財政運営の財源として市町村は国保事業費納付金を都道府県に納めることになるため、あわせて予算科目も改めているところであります。

平成30年度当初予算は、前年度対比17.1%減の27億1,370万円を計上した次第でございます。

その概要について、歳入から御説明申し上げます。

国民健康保険税は、被保険者に係る医療給付費分、後期高齢者支援金分及び介護納付金分で、前年度対比17.3%減の5億9,410万3,000円。

一部負担金は、一部負担金の徴収猶予分で、2,000円。

道支出金は、制度改正による科目編成を行い、普通交付金及び特別交付金として18億2,262万6,000円。

財産収入は、富良野市国民健康保険事業保険給付基金利子で、1,000円。

繰入金は、給付基金繰入金の科目設定と一般会計繰入金で、前年度対比18.7%減の2億9,374万4,000円。

繰越金は、科目設定でございます。

諸収入は、被保険者における第三者行為による損害賠償金、保険給付費返納金金などで、322万3,000円の計上でございます。

国民健康保険制度改正により、予算の科目が整理され、国庫支出金、療養給付費等交付金、前期高齢者交付金、共同事業交付金は廃款となり、道支出金のうち、道負担金、道補助金分は科目編成により削除となります。

次に、歳出について御説明申し上げます。

総務費は、総務管理費、徴税费、運営協議会費の人件費及び経常経費などで、今年度からの国民健康保険制度改革によるシステム運用経費を含めて、前年度対比29.4%減の6,918万5,000円。

保険給付費は、被保険者における療養諸費、高額療養費、移送費、出産育児一時金及び北海道の統一基準として1件3万円となりました葬祭費で、前年度対比4.8%減の17億9,469万4,000円。

保険事業費納付金は、制度改正により新設された科目で、財政運営を担う北海道に対する納付金として、医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分、合わせて8億1,335万2,000円。

共同事業拠出金は、その他共同事業事務費拠出金の名称が変更となりまして、1,000円。

保健事業費は、保健事業費及び特定健康診査等事業費で、前年度対比3.3%増の3,086万3,000円。

基金積立金は、富良野市国民健康保険事業保険給付基金利子積立金で、1,000円。

公債費は、一時借入金利子で、10万3,000円。

諸支出金は、一般被保険者及び退職被保険者などの過年度分保険税還付金で、前年度同額の250万1,000円。

予備費は、前年度対比70%減で、300万円の計上でございます。

国民健康保険制度改正により、予算の科目が整理され、後期高齢者支援金等、前期高齢者納付金等、老人保健拠出金、介護納付金は廃款となります。

次に、議案第3号、平成30年度富良野市介護保険特別会計予算について御説明申し上げます。

介護保険制度は、利用者の選択により、保健、福祉、医療の介護サービスを総合的かつ効率的に提供するもので、平成30年度から平成32年度までは、第7期介護保険事業計画に基づき、運営を行っていくものであります。

平成30年度予算は、前年度保険給付実績などを勘案し、前年度対比1.6%増の21億3,200万円を計上した次第でございます。

その概要について、歳入から御説明申し上げます。

介護保険料は、65歳以上の第1号被保険者の特別徴収及び普通徴収保険料で、前年度対比10.6%増の3億9,887万4,000円。

分担金及び負担金は、介護認定審査会に係る本市を除く構成町村の負担金で、前年度とほぼ同額の514万1,000円。

国庫支出金は、介護給付費負担金、調整交付金及び地域支援事業交付金で、前年度対比2.7%増の5億2,442万3,000円。

支払基金交付金は、40歳以上65歳未満の第2号被保険者の保険料分の介護給付費交付金及び地域支援事業交付金で、前年度対比2.0%減の5億3,742万2,000円。

道支出金は、介護給付費負担金及び地域支援事業交付金で、前年度対比0.5%増の3億436万2,000円。

財産収入は、介護保険給付費準備基金利子で、6万3,000円。

繰入金は、介護給付費繰入金、地域支援事業繰入金及び介護認定事務に要する費用や職員給与と費などの一般会計繰入金、低所得者保険料軽減繰入金並びに介護保険給付費準備基金繰入金で、前年度対比2.2%減の3億5,189万4,000円。

繰越金は、科目設定でございます。

諸収入は、社会及び労働保険料、サービス計画費などで、前年度対比10.5%減の982万円の計上でございます。

次に、歳出について御説明申し上げます。

総務費は、総務管理費、徴収費、介護認定審査会費の人件費及び経常経費などで、前年度対比2.4%増の7,547万6,000円。

保険給付費は、介護サービス等諸費及び高額介護サービス等費で、前年度対比1.0%増の19億1,963万3,000円。

地域支援事業費は、介護予防・生活支援サービス事業費、一般介護予防事業費及び包括的支援事業・任意事業費で、前年度対比10.3%増の1億3,556万8,000円。

基金積立金は、介護保険給付費準備基金積立金で、6万3,000円。

公債費は、一時借入金利子で、25万円。

諸支出金は、償還金及び還付加算金で、51万円。

予備費は、前年度同額で、50万円の計上でございます。

次に、議案第4号、平成30年度富良野市後期高齢者医療特別会計予算について御説明申し上げます。

後期高齢者医療制度は、後期高齢者に係る医療費を安定的に賄い、持続可能な医療制度を構築するため、市町村が加入する北海道後期高齢者医療広域連合が運営主体となるもので、平成30年度予算は、前年度対比7.8%増の3億3,160万円を計上した次第でございます。

その概要について、歳入から御説明申し上げます。

後期高齢者医療保険料は、特別徴収及び普通徴収保険料で、前年度対比7.2%増の2億331万9,000円。

繰入金は、保険基盤安定と職員給与と費などの一般会計繰入金で、前年度対比7.8%増の1億2,714万9,000円。

繰越金は、科目設定でございます。

諸収入は、保険料還付金などで、前年度と同額の20万2,000円。

国庫支出金は、国庫補助金で、後期高齢者医療システム改修に係る高齢者医療制度円滑運営事業費として、前年度対比皆増の92万9,000円の計上でございます。

次に、歳出について御説明申し上げます。

総務費は、総務管理費、徴収費の人件費、経常経費及び後期高齢者医療システム改修に伴う経費で、前年度対比4.4%増の2,300万5,000円。

後期高齢者医療広域連合納付金は、事務費負担金及び保険料等納付金で、前年度対比8.0%増の3億789万5,000円。

諸支出金は、保険料還付金及び還付加算金で、前年度と同額の20万円。

予備費は、前年度と同額の50万円を計上した次第でございます。

次に、議案第5号、平成30年度富良野市公共下水道事業特別会計予算について御説明申し上げます。

公共下水道事業特別会計は、快適で衛生的な生活環境の形成と公共水域の水質汚濁防止を図ることとして、平成30年度予算は、前年度対比10.6%減の8億8,460万円を計上した次第でございます。

その概要について、歳入から御説明申し上げます。

分担金及び負担金は、特定環境保全公共下水道事業受益者分担金及び公共下水道事業受益者負担金で、前年度

対比49.7%減の53万4,000円。

使用料及び手数料は、下水道使用料、雨水幹線使用料及び下水道手数料で、前年度対比2.5%減の2億8,193万1,000円。

国庫支出金は、公共下水道事業国庫補助金で、前年度対比35.2%減の9,330万円。

財産収入は、公共下水道事業基金利子で、1,000円。

繰入金は、一般会計繰入金及び公共下水道事業基金繰入金で、前年度対比4.6%増の3億799万1,000円。

繰越金は、科目設定でございます。

諸収入は、社会及び労働保険料で、前年度同額の4万2,000円。

市債は、下水道事業債で、前年度対比23.1%減の2億80万円の計上でございます。

次に、歳出について御説明申し上げます。

下水道費は、人件費などの一般管理費、水洗化普及促進費、管渠管理費、水質規制費、水処理センター管理費、管渠事業費及び処理場事業費で、前年度対比12.9%減の4億8,589万3,000円。

公債費は、地方債元利償還金及び一時借入金利子で、前年度対比7.7%減の3億9,770万7,000円。

予備費は、前年度同額で100万円の計上でございます。

次に、議案第6号、平成30年度富良野市簡易水道事業特別会計予算について御説明申し上げます。

簡易水道事業特別会計予算は、簡易水道事業の効率的な運営及び施設の適正な維持管理を図ることとして、平成30年度予算は、前年度対比2.2%増の1億970万円を計上した次第でございます。

その概要について、歳入から御説明申し上げます。

分担金及び負担金は、科目設定でございます。

使用料及び手数料は、簡易水道料金及び水道手数料で、前年度対比3.1%減の3,717万3,000円。

繰入金は、一般会計繰入金で、前年度対比18.6%増の7,086万7,000円。

繰越金は、科目設定でございます。

諸収入は、下水道からの使用料賦課徴収事務委託負担金、量水器取替負担金などで、前年度対比41.6%増の165万8,000円。

市債は、簡易水道事業債で、前年度対比皆減でございます。

次に、歳出について御説明申し上げます。

簡易水道費は、人件費などの一般管理費、施設管理費、簡易水道事業費で、前年度対比1.3%増の6,179万6,000円。

公債費は、地方債元利償還金で、前年度対比3.5%増の4,770万4,000円。

予備費は、前年度同額で、20万円の計上でございます。

次に、議案第7号、平成30年度富良野市水道事業会計

予算について御説明申し上げます。

水道事業会計予算は、業務の予定量を給水戸数7,600戸、年間総配水量を198万4,000立方メートル、1日平均配水量を5,435立方メートルと予定し、編成したところでございます。

建設改良事業につきましては、水道水の安定した供給体制の確立のため、老朽管の更新を中心とした配水管整備事業及び老朽化した動力計装機器更新事業を実施してまいります。

第3条予算の収益的収入につきましては、水道事業収益を前年度対比0.6%減の4億5,220万円とし、その内訳は、水道料金を3億5,900万円、設計審査手数料などの受託工事収益121万円、一般会計等からの負担金及び補助金で6,624万6,000円、長期前受金戻入で2,556万8,000円、その他営業収益、受取利息、雑収益で17万6,000万円の計上でございます。

収益的支出につきましては、前年度対比1.9%増の4億3,780万円とし、その内訳は、給与費で4,479万円、水源送水場管理、水道施設管理図作成、検針及び料金徴収などの委託料で6,202万6,000円、有効期間満了による量水器取替及び配水・給水施設などの修繕費で8,644万9,000円、水源送水場動力費で3,312万円、企業債利息で5,058万9,000円、その他諸経常経費で1,003万7,000円、消費税及び地方消費税で800万円、現金支出の伴わない減価償却費などで1億4,078万9,000円、予備費で200万円の計上でございます。

第4条予算の資本的支出につきましては、前年度対比52.5%増の4億6,000万円とし、その内訳は、建設改良費の施設整備費が配水管整備事業として麻町地区配水管更新工事ほか4件及び動力計装機器更新事業の工事請負費で2億5,478万円、事務費は臨時事務員賃金や旅費などで241万5,000円、量水器取替費は有効期間満了によるもので325万9,000円、有形固定資産取得費は、中五区水源送水場資材倉庫などで811万6,000円、企業債償還金は、企業債償還元金で1億9,143万円の計上でございます。

この財源といたしまして、第4条予算の資本的収入に計上の企業債2億3,800万円、量水器取替負担金18万3,000円、配水管移設補償1,670万円、雑収入21万7,000円、総額2億5,510万円を見込み、不足する財源2億490万円は、損益勘定留保資金等で補填するものでございます。

次に、議案第8号、平成30年度富良野市ワイン事業会計予算について御説明申し上げます。

ワイン事業会計予算につきましては、業務の予定量を製品製造予定数量として212.4キロリットル、内訳、ワイン165.6キロリットル、果汁46.8キロリットル、製品販売予定数量として219.6キロリットル、内訳、ワイン172.8キロリットル、果汁46.8キロリットルを予定し、製品の

製造及び販売に必要な予算を見込み、編成したところでございます。

第3条予算の収益的収入につきましては、ワイン事業収益を前年度対比6.8%減の3億5,000万円とし、その内訳は、営業収益で3億4,515万5,000円、営業外収益で484万5,000円の計上でございます。

収益的支出は、ワイン事業費用を前年度対比6.5%減の3億4,800万円とし、その内訳は、管理費用で1億917万8,000円、営業費用で2億2,682万6,000円、営業外費用で999万6,000円、予備費で200万円の計上でございます。

次に、第4条予算の資本的支出につきましては、前年度対比10.9%増の2億8,910万円とし、その内訳は、建設改良費で3,540万7,000円、たな卸資産生産費で2億5,069万3,000円、予備費を300万円計上し、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する2億8,910万円は、利益積立金を処分する200万円を含めた当年度分損益勘定留保資金1億9,833万2,000円と、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,085万9,000円、過年度分損益勘定留保資金未使用額7,990万9,000円で補填するものでございます。

以上、御説明申し上げました一般会計、特別会計及び公営企業会計を合わせた平成30年度の当初予算総額は、191億7,250万円、前年度対比で6.9%の減となった次第でございます。

予算の執行に当たりましては、議会の意思を十分尊重するとともに、簡素で効率的な財政運営に努めてまいります。

なお、一般会計予算案につきましては、総務部長より細部説明を申し上げますので、十分なる御審議をいただきますようお願い申し上げます、予算の概要説明といたします。

議長（日里雅至君） ここで、10分間休憩いたします。

午前10時57分 休憩

午前11時05分 開議

議長（日里雅至君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

休憩前の議事を続行いたします。

次に、平成30年度富良野市一般会計予算の細部について説明を求めます。

なお、特別会計及び企業会計予算の細部については省略いたします。

総務部長若杉勝博君。

総務部長（若杉勝博君） -登壇-

平成30年度富良野市一般会計予算の細部について御説明申し上げます。

一般会計予算及び予算説明書の御用意をお願いいたし

ます。

1ページをお開きいただきたいと存じます。

予算第1条は、歳入歳出予算の総額を114億6,600万円に定めようとするもので、前年度当初予算対比で7.8%、9億6,700万円の減でございます。

第1表歳入歳出予算の款項の区分及びその金額につきましては、歳入が2ページから5ページ、歳出が6ページから8ページにそれぞれ記載のとおりでございます。

戻りまして、1ページの予算第2条は、債務負担行為7件で、債務負担行為を行うことができる事項、期間及び限度額につきましては、10ページ、11ページの第2表債務負担行為に記載のとおりでございます。

予算第3条は、地方債15件、限度額は合計4億6,420万円で、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法については、10ページから13ページに第3表地方債として記載しております。

予算第4条は、一時借入金で、借入れの最高額を25億円と定めようとするもので、前年度と同額でございます。

次に、14ページをお開きいただきたいと存じます。

歳入歳出予算事項別明細書の総括、歳入につきましては、各款ごとの前年度予算との比較を14ページ、15ページに、歳出につきましては、各款ごとの前年度予算との比較、財源内訳を16ページ、17ページに記載のとおりでございます。

次に、18ページから61ページまでは、1款市税から22款市債までの歳入の事項別明細でございます。

細部につきましては、先ほど副市長から予算の概要で御説明申し上げたとおりでございますので、省略させていただきます、歳出につきましては、各款項目のうち、目で、前年度と比較しまして1,000万円を超える増減のあった項目を中心に、その主な要因について御説明申し上げます。

62ページから69ページの2款総務費1項総務管理費1目一般管理費は、前年度対比7,949万2,000円減の9億8,118万円の計上ですが、減額の主な要因は、162番、地籍調査事業費、250番、富良野広域連合負担金の減額によるものでございます。

次に、102ページでございます。

4項選挙費2目市長及び市議会議員選挙費は、100番、市長及び市議会議員選挙費1,830万1,000円の計上でございます。

次に、108ページでございます。

3款民生費1項社会福祉費2目老人福祉費は、前年度対比3億6,192万7,000円減の6億1,752万1,000円の計上で、減額の主な要因は、後期高齢者医療特別会計繰出金1億2,714万9,000円及び後期高齢者医療療養給付費負担金3億1,536万8,000円の予算の組み替えを行い、5目医療給付費に計上したことによるものでございます。また、

前年度、5目老人ホーム費として予算組みをしていた500番、養護老人ホーム寿光園運営管理事業費5,714万8,000円を本目で計上してございます。

次に、112ページでございます。

3目身体障害者福祉費は、前年度対比4,623万4,000円減の651万7,000円の計上で、減額の主な要因は、重度心身障害者医療給付事業費4,613万円の予算の組み替えを行い、5目医療給付費に計上したことによるものでございます。

次に、114ページでございます。

5目医療給付費は、新たに設けた予算科目でございまして、5億5,866万3,000円の計上でございますが、さきに申し上げた後期高齢者医療給付、重度心身障害者医療給付及びひとり親家庭等医療給付、乳幼児医療給付、養育医療給付に係る経費を本目にまとめて計上してございます。

次に、118ページでございます。

7目障害者自立支援費は、前年度対比1,834万1,000円増の8億2,043万4,000円の計上で、増額の主なものは、130番、自立支援給付事業費の増によるものです。

次に、120ページ下段でございます。

2項児童福祉費 1目児童福祉総務費は、前年度対比1,232万3,000円減の3億176万4,000円の計上で、減額の主なものは、112番、児童手当支給事業費の減によるものでございます。

次に、124ページでございます。

2目母子福祉費は、前年度対比1,087万9,000円減の1億1,122万5,000円の計上で、減額は、ひとり親家庭等医療給付事業費1,420万1,000円を1項社会福祉費 5目医療給付費に予算の組み替えを行ったことによるものでございます。

次に、132ページ上段でございます。

6目子ども子育て支援費は、前年度対比1,672万円増の3億482万8,000円の計上で、増額の要因は、110番、子ども子育て支援給付事業費の増及び140番、多子世帯の保育料軽減支援事業費補助金427万7,000円の予算計上によるものでございます。

次に、138ページでございます。

4款衛生費 1項保健衛生費 3目母子衛生費は、前年度対比5,965万2,000円減の1,738万4,000円の計上で、減額は、乳幼児医療給付事業費5,401万4,000円を3款民生費 1項社会福祉費 5目医療給付費に予算の組み替えを行ったことによるものでございます。

次に、140ページ下段でございます。

5目環境衛生費は、前年度対比1,038万6,000円増の2,931万円の計上で、増額は、103番、合同墓設置事業費1,481万9,000円の計上によるものです。

次に、142ページでございます。

6目環境保全費は、前年度対比5,068万9,000円増の5,486万5,000円の計上で、増額は、115番、固形燃料ボイラー熱供給設備使用事業費5,082万6,000円の計上によるものでございます。

次に、154ページ下段でございます。

6款農林業費 1項農業費 3目農業振興費は、前年度対比3,349万9,000円減の3億7,364万円の計上で、主な要因は、145番、農業担い手育成事業費及び155番、新規参入支援農地集積事業費の減額によるものでございます。

次に、160ページ下段でございます。

6目農業基盤整備事業費は、前年度対比3,153万5,000円減の16万円の計上で、100番、道営農業生産基盤整備事業費の減と、前年度における農業競争力基盤強化特別対策事業費及び農業基盤整備促進支援事業費の減によるものでございます。

次に、162ページ上段でございます。

7目農業施設管理費は、前年度対比2,003万円減の459万6,000円の計上で、主な要因は、前年度の自然休養村管理センター談話室暖房機改修事業及び農村環境改善センター改修事業の終了によるものでございます。

次に、164ページでございます。

7款商工費 1項商工費 1目商工業振興費は、前年度対比1,757万6,000円減の5,137万2,000円の計上で、減額の主な要因は、190番、商工業パワーアップ資金融資事業費の減と、地域振興消費拡大推進事業費及び公設地方卸売市場事業特別会計繰出金の皆減によるものでございます。

次に、166ページ下段でございます。

3目観光費は、前年度対比2,828万1,000円増の7,960万1,000円の計上で、増額の主な要因は、123番、ふらの版DMO推進事業費2,605万9,000円、135番、観光経済調査事業費648万円の計上と、170番、北海へそ祭り実行委員会補助金の増によるものでございます。

次に、174ページでございます。

6目中心街活性化事業費は、前年度対比1億6,797万4,000円減の1億417万9,000円の計上で、減額の主な要因は、前年度のサンライズパーク整備事業費の土地購入費及びDMO拠点整備事業費の区分所有建物購入の終了によるものでございます。

次に、176ページ上段でございます。

8款土木費 1項土木管理費 2目土木機械費は、前年度対比4,924万1,000円減の1,060万円の計上で、減額は、前年度の土木機械整備事業費の車両購入費の減によるものでございます。

次に、180ページでございます。

2項道路橋梁費 4目道路新設改良費は、前年度対比1億9,085万6,000円減の5,567万2,000円の計上で、減額の要因は、前年度の東6条道路改良舗装事業、西8条2道路改良舗装事業、東2条1道路改良舗装事業、春日錦町

通道路改良舗装事業の完了によるものでございます。

5目橋梁維持費は、前年度対比1,800万円減の4,520万円の計上で、減額は、140番、市道橋長寿命化事業費の減によるものでございます。

次に、182ページ、橋梁新設改良費は、前年度の扇山橋架換事業の終了により、目を廃止するものでございます。

次に、184ページでございます。

4項都市計画費 2目街路事業費は、前年度対比1,173万2,000円減の570万8,000円の計上で、減額は、前年度の東雲通道路改良舗装事業費の減額によるものでございます。

3目公共下水道費は、前年度対比1,730万3,000円減の2億7,723万6,000円の計上で、減額は、100番、公共下水道事業特別会計繰出金の減によるものでございます。

4目公園費は、前年度対比6,596万9,000円減の2,192万4,000円の計上で、減額は、前年度の公園施設長寿命化事業費の減額によるものでございます。

次に、186ページでございます。

5項住宅費 1目住宅管理費は、前年度対比1,256万4,000円減の3,075万5,000円の計上で、減額は、前年度の公営住宅長寿命化事業費1,936万円の減によるものでございます。また、160番、まちなか居住促進助成金300万円を計上してございます。

次に、188ページの住宅建設費は、目を廃止するものでございます。

次に、190ページでございます。

9款教育費 1項教育総務費 3目教育振興費は、前年度対比1,167万6,000円増の6,140万4,000円の計上で、増額の主な要因は、110番、外国語指導助手招致事業費の増、135番、教師用教科書・指導書購入経費145万8,000円及び145番、学校図書館活用推進事業費353万円の予算計上によるものでございます。

次に、216ページでございます。

10款公債費 1項公債費 1目元金は、前年度対比8,381万円増の10億6,498万8,000円、2目利子は、前年度対比1,237万1,000円減の9,053万円を計上してございます。

なお、222ページから227ページには給与費明細書、228ページから237ページには債務負担行為に関する調書、238ページ、239ページには地方債現在高の見込みに関する調書をそれぞれ掲載してございます。

以上、平成30年度一般会計予算の細部について御説明申し上げましたが、よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

散 会 宣 告

議長（日里雅至君） 以上で、本日の日程は終了いたしました。

明3月1日の議事日程は、お手元に御配付のとおりであります。

本日は、これをもって散会いたします。

午前11時23分 散会

上記会議の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成30年 2月28日

議 長 日 里 雅 至

署名議員 今 利 一

署名議員 関 野 常 勝